

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-055486

(43)Date of publication of application : 26.02.1999

(51)Int.Cl.

H04N 1/32  
H04L 12/18  
H04L 12/54  
H04L 12/58  
H04M 3/42  
H04M 11/00  
H04N 1/00

(21)Application number : 09-204088

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 30.07.1997

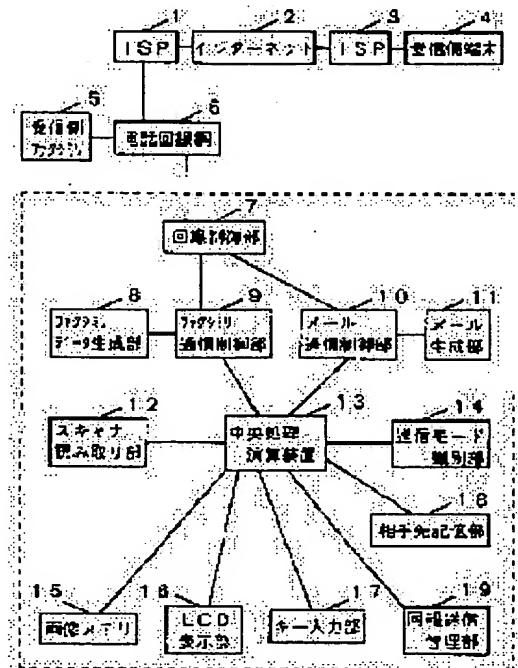
(72)Inventor : TAKATSUKI KUNIO  
IMABAYASHI TOKIO

## (54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a facsimile equipment that simply conduct multiple address transmission of a facsimile text and an electronic mail.

**SOLUTION:** A central processing arithmetic unit 13 reads a destination that does not receive data from a multiple address transmission management section 19, reads destination information not corresponding to the destination from a destination storage section 18 and informs it to a transmission mode identification section 14. The transmission mode identification section 14 identifies the transmission destination is an electronic mail or a facsimile text and when the destination is an electronic mail, the electronic mail generated by a mail communication control section 10 is sent to a receiver side terminal 4 via an Internet 2. When the destination is a facsimile equipment, a facsimile communication control section 9 sends facsimile data to a receiver side facsimile equipment 5.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

**This Page Blank (uspto)**

Japanese Publication for Unexamined Patent Application  
No. 55486/1999 (Tokukaihei 11-55486)

A. Relevance of the Above-identified Document

This document has relevance to claims 1 through 17 of the present application.

B. Translation of the Relevant Passages of the Document

[0016] In S6 in Figure 2, an E-mail creating section 11 reads out document data from an image memory 15, and converts the data to a format which can be sent as an E-mail. Thereafter, when a line control section 7 is connected to ISP1 via a telephone line network 6, an E-mail communication control section 10 sends the created E-mail to a receiver's terminal 4 which is connected to ISP3 via the Internet 2. Then, the sequence goes to S8. (S7)

[0017] In S9 in Figure 2, a facsimile data creating section 8 reads out document data from the image memory 15, and converts the data to a format which can be sent through a facsimile. Thereafter, when the line control section 7 is connected to a receiver's facsimile 5 via the telephone line network 6, a facsimile communication control section 9 sends the created facsimile data to the receiver's facsimile 5. Then, the sequence goes to S8. (S10)

**This Page Blank (uspto)**

FIGURE 2

S5 send through a facsimile?

S6 create E-mail data

S7 send E-mail data

S9 create facsimile data

S10 send facsimile data

**This Page Blank (uspto)**

(19)日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開平11-55486

(43)公開日 平成11年(1999) 2月26日

識別記号		F 1		Z		H	
(51)IntCl. <sup>4</sup>	H 0 4 N	1/32					
	H 0 4 L	12/18					
		12/54					
		12/58					
		H 0 4 M	3/42			1 0 1	
			11/00			3 0 3	
		H 0 4 N	1/00			1 0 7 2	
		審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁) 最終頁に続く					

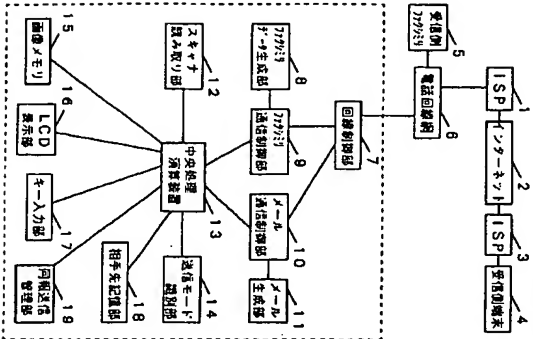
(21)出願番号	特願平9-204088	(71)出願人	000065821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22)出願日	平成 9 年 (1997) 7 月 30 日	(72)発明者	高井城 邦夫 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 今林 晴夫 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 (73)発明者 産業株式会社内 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 (74)代理人 弁護士 滝本 智之 (外1名)

(54)【発明の名称】 フラクシミリ装置

(57)【要約】

【課題】 フラクシミリと電子メールとを、簡単に同報送信できるフラクシミリ装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 中央処理演算装置13が同報送信管理部19よりまだ送信されていない相手先を読み出し、その相手先に対して相手先記憶部18より読み出し、送信モード識別部14に通知する。送信モード識別部14は送信する相手が電子メールか、フラクシミリかを識別し、電子メールならメール通信制御部10が生成された電子メールをインターネット2を介して受信側端末4に送信する。フラクシミリならば、フラクシミリ通信制御部9がフラクシミリデータを受信側フラクシミリ5に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールを送信するメール通信制御部と、フラクシミリデータを送信するフラクシミリ通信制御部と、送信先の電子メールアドレスとフラクシミリ番号を記憶する相手先記憶部と、原稿を複数の相手に送信できる同報送信管理部と、送信する相手が電子メールかフラクシミリかを識別する送信モード識別部とを備えたことを特徴とするフラクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】 【発明の属する技術分野】 本発明は、電子メールを送信する機能を備えたフラクシミリ装置に関するものである。

【0002】 【従来の技術】 現在、フラクシミリで読み取った原稿データを、インターネットを介して送信できる電子メール機能を備えたフラクシミリ装置に対する要求が高まりつつある。従来のフラクシミリ装置では、同一原稿を受信形態の異なるフラクシミリと電子メールの相手に複数送信する時は、まず、フラクシミリの相手だけを複数選択し、通常のフラクシミリ同報送信を行い、次に、電子メールの相手だけを複数選択し、電子メールの同報送信を行うようになっていた。

【0003】 【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このような構成では、フラクシミリと電子メールの相手に別々に同報送信を行わなければならないので、操作が複雑で、手間がかかるという問題点があった。

【0004】 そこで本発明は、フラクシミリと電子メールとを、簡単に同報送信できるフラクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0005】 【課題を解決するための手段】 本発明のフラクシミリ装置は、電子メールを送信するメール通信制御部と、フラクシミリデータを送信するフラクシミリ通信制御部と、送信先の電子メールアドレスとフラクシミリ番号を記憶する相手先記憶部と、原稿を複数の相手に送信できる同報送信管理部と、送信する相手が電子メールかフラクシミリかを識別する送信モード識別部とを備えている。

【0006】 この構成により、フラクシミリと電子メールとを、簡単に同報送信できるフラクシミリ装置を実現できる。

【0007】

【発明の実施の形態】 請求項1記載のフラクシミリ装置は、電子メールを送信するメール通信制御部と、フラクシミリデータを送信するフラクシミリ通信制御部と、送信先の電子メールアドレスとフラクシミリ番号を記憶する相手先記憶部と、原稿を複数の相手に送信できる同報送信管理部と、送信する相手が電子メールかフラクシミリかを識別する送信モード識別部とを備えている。

(2)

【0008】 この構成により、フラクシミリと電子メールの相手を混在して選択し、同報送信することができ

る。  
【0009】 以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。図1は、本発明の一実施の形態におけるフラクシミリ装置のブロック構成図、図2は、本発明の一実施の形態におけるフラクシミリ装置の動作を示すフローチャートである。

【0010】 図1において、1、3は、電話回線網6を介してインターネット2に接続するISP (インターネットサービスプロバイダ)、4は、電子メールを受信する受信側端末、5は、受信側フラクシミリ、7は、電話回線網6に対してダイヤル等を行う回線制御部、8は、読み取った原稿データをフラクシミリ通信用のデータに変換するフラクシミリデータ生成部、9は、フラクシミリ通信を行うフラクシミリ通信制御部、10は、電子メール通信を行うメール通信制御部、11は、読み取った原稿データを電子メール通信用のデータに変換するメール生成部である。

【0011】 12は、原稿を読み取るスキャナ読み取り部である。13はこのフラクシミリ装置全体を制御する中央処理演算装置である。14は相手がフラクシミリか電子メールであるかを識別する送信モード識別部である。15は読み取った原稿データを一時記憶しておく画像メモリである。16は送信相手先の選択や、送信相手先の通信形態、フラクシミリ番号、電子メールアドレス等を設定する時に記憶するLCD表示部である。17は送信相手先の選択や、送信相手先の通信形態、フラクシミリ番号、電子メールアドレスの通信形態、フラクシミリ番号、電子メールアドレス等を記憶する相手先記憶部である。18は同報送信時の送信先等を制御する同報送信管理部である。

【0012】 以上のように構成されたフラクシミリ装置の動作を図2のフローチャートを用いて説明する。さて、相手先記憶部18には、あらかじめ使用者によって送信相手先等の通信形態、フラクシミリ番号、電子メールアドレスが入力されている。

【0013】 まず、使用者は、送信したい原稿をスキャナ読み取り部12にセットする (S1)。次に使用者がLCD表示部16で確認しながらキー入力部17を操作し、送信相手先を複数選択し、同報送信設定を行うと、選択した相手先は、同報送信管理部19に記憶される (S2)。

【0014】 次に、使用者がキー入力部17中の送信開始キーを押すと、中央処理演算装置13がスキャナ読み取り部12に読み取り動作開始要求を出し、原稿の読み取り動作が開始される (S3)。スキャナ読み取り部12で読み取られた原稿データは、同報送信時、何度も原稿を読み取らなくともよい様に、画像メモリ15に記憶

(3)

される(S4)。  
【0015】次に、S5では、中央処理装置13が同報送信管理部19よりまだ送信されていない相手先を読み出し、その相手先に対応する相手先記憶部18より読み出し、送信モード識別部14に通知する。送信モード識別部14では、送信する相手先が電子メールか、ファクシミリかを識別し電子メールならばS6へ、ファクシミリならばS9に進む(S5)。

【0016】S6では、メール生成部11が画像メモリ15より原稿データを読み出し、電子メールで送信可能なデータ形式に変換する。その後、回線制御部7が電話回線網6を介してISP1と接続すると、メール通信制御部10が生成した電子メールをインターネット2を介してISP3に接続されている受信側端末4に送信する。その後S8に進む(S7)。

【0017】S9では、ファクシミリデータ生成部8が画像メモリ15より原稿データを読み出し、ファクシミリで送信可能なデータ形式に変換する。その後、回線制御部7が電話回線網6を介して受信側ファクシミリ5と接続すると、ファクシミリ通信制御部9が生成されたファクシミリデータを受信側ファクシミリ5に送信する。その後S8に進む(S10)。

【0018】S8では、中央処理装置13が同報送信管理部19の情報を読み出しすべての選択された相手先に送信を行ったかをチェックし、まだ送信していない相手先があればS5に進み送信を行う。すべての相手に

送信が終了した場合は、同報送信処理を終了する。  
【0019】以上のように本発明の実施の形態では、ファクシミリ装置に、回線制御部7と、ファクシミリデータ生成部8と、ファクシミリ通信制御部9と、メール通信制御部10と、メール生成部11と、スキャナ読み取り部12と、中央処理装置13と、送信モード識別部14と、画像メモリ15と、LCD表示部16と、キー入力部17と、相手先記憶部18と、同報送信管理部19を設けることにより、ファクシミリと電子メールの相手を混在して選択し、同報送信することができる。

【0020】

【発明の効果】本発明によれば、ファクシミリと電子メールの相手を混在して選択し、簡単に同報送信することができる。

【図面の簡単な説明】

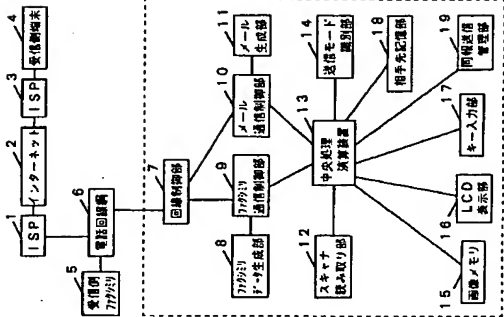
【図1】本発明の一実施の形態におけるファクシミリ装置のブロック構成図

【図2】本発明の一実施の形態におけるファクシミリ装置の動作を示すフローチャート

【符号の説明】

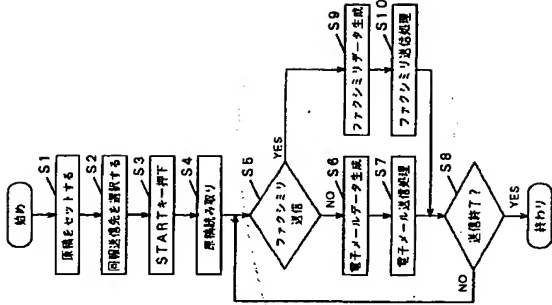
- 9 ファクシミリ通信制御部
- 10 メール通信制御部
- 14 送信モード識別部
- 18 相手先記憶部
- 19 同報送信管理部

【図1】



(4)

【図2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6	識別記号	F I
H04M 3/42	101	H04L 11/18
11/00	303	11/20
H04N 1/00	107	101B